



2011年3月期 第2四半期決算説明資料

WIN INTERNATIONAL CO., LTD.

2010年11月2日

証券コード:2744

株式会社ウイン・インターナショナル

代表取締役社長 秋沢 英海

1. 第2四半期決算概要報告	2
1. 決算サマリー	3
2. 第2四半期決算の総括	4
3. 商品別販売数量伸長率	6
4. 要約損益計算書	7
5. 要約貸借対照表	8
6. 要約キャッシュ・フロー計算書	9
7. 業績推移	10
2. 下期の戦略と予想	11
1. 事業環境	12
2. 基本戦略	13
3. 今期予想	16
4. 株主還元	17
5. 成長戦略	18



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

1. 第2四半期決算概要報告

1-1 決算サマリー

	2009年4-9月期		2010年4-9月期		
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	前年同期比(%)
売上高	14,182	100.0	14,295	100.0	+0.8
営業利益	673	4.7	667	4.7	▲ 0.9
経常利益	678	4.8	673	4.7	▲ 0.7
四半期純利益	388	2.7	392	2.7	+1.2
1株当たり四半期純利益(円)	31.57	—	31.93	—	+1.1
1株当たり純資産(円)	459.08	—	505.32	—	+10.1

1-2 第2四半期決算の総括①

【事業環境】

- ・償還価格低下 ⇒ 診療報酬(本体)引き上げにより、値下げ圧力は和らぐ
- ・低侵襲治療の浸透、市場の拡大 ⇒ 低侵襲治療の症例数の増加
- ・新製品の上市・デバイスの進化 ⇒ 使用する対象症例の拡大、1症例当たり製品使用量の増加
- ・患者集中化 ⇒ 地域基幹病院での治療に集中化傾向



【取り組み】

- ・営業部と新規事業部の連携強化
- ・大学病院・グループ病院との更なる取引拡大
- ・顧客密着型の営業体制へシフト
- ・営業所の機動的整備
- ・仕入価格交渉の強化と病院への適正価格提示



【結果】

- ・売上高は前期比 +0.8%(過去最高)
- ・系列病院との取引開始
- ・償還価格改定による影響はあったが、主力取扱製品の仕入条件の改善等により原価率は前期水準を維持 前期差+0.03pt
- ・人員増等により販管費率 前期差+0.05pt

1-2 第2四半期決算の総括②

水平戦略

長期的な取り組み その1（水平戦略）：営業エリアも着実に拡大

【西日本】

- ・前期に続き、今期も各拠点の成長を図るステージ

【東日本】

- ・主要エリアとなる関東については営業職を増員、新規顧客の対応力を拡充
- ・沼津に出張所を新設

長期的な取り組み その2（垂直戦略）：取り扱い診療科目も着実に拡大

- ・低侵襲治療関連の医療機器販売の推進（心臓を中心に頭、足、頸、消化器等）
 - ・成長期待分野をセクション化し、人員増強、研修制度により専門性の強化
- CVS:心臓外科関連の医療機器(ステントグラフト等)の販売の推進
- CRS:心臓律動管理関連の医療機器(ICD、CRT-D/EP・アブレーション等)の販売の推進
- DMS:2010年初より、糖尿病関連の医療機器(インスリンポンプ等)の販売を開始

ガバナンス・内部統制・リスク管理

- ・一般株主の利益保護の観点から、社外役員3名全員を独立役員に指定。
- ・内部通報制度における外部通報窓口の運用。

1-3 商品別販売数量伸長率(前年上期対比)

商品区分	伸長率
■ 虚血性心疾患関連(PCI)	105.2%
PTCAバルーンカテーテル	(109.5%)
BMS(ベアメタルステント)	(95.2%)
DES(ドラッグエリユーティングステント)	(110.8%)
IVUS(血管内超音波プローブ)	(112.7%)
その他PCI関連	(104.6%)
■ 心臓律動管理関連(CRS合計※)	114.0%
ペースメーカー関連	(98.6%)
ICD/CRT-D関連等(植込み型除細動器等)	(139.7%)
EP・アブレーション関連(電気生理検査用カテーテル・心筋焼灼術用カテーテル)	(116.8%)
その他CRS関連	(115.7%)
■ 心臓外科関連(CVS合計※)	120.9%
■ 末梢血管疾患関連(PPI)	115.0%
■ 脳外科関連	102.3%

(※)「CRS」(Cardiac Rhythm Section):心臓律動管理分野の商品を扱う専門セクション。

「CVS」(Cardiac Vascular Section):心臓外科分野の商品を扱う専門セクション。

1-4 要約損益計算書

	2009年4-9月期		2010年4-9月期		
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	前年同期比(%)
売上高	14,182	100.0	14,295	100.0	+0.8
売上原価	12,313	86.8	12,415	86.9	+0.8
売上総利益	1,868	13.2	1,879	13.1	+0.6
販売管理費	1,195	8.4	1,212	8.5	+1.4
営業利益	673	4.7	667	4.7	▲ 0.9
営業外収益	7	0.1	7	0.1	+8.8
営業外費用	2	0.0	1	0.0	▲ 30.8
経常利益	678	4.8	673	4.7	▲ 0.7
特別利益	—	—	5	0.0	—
特別損失	—	—	0	0.0	—
税前利益	678	4.8	678	4.7	+0.1
税金費用	289	2.0	285	2.0	▲ 1.4
四半期純利益	388	2.7	392	2.7	+1.2

売上高 +0.8%
 (マイナス要因)
 償還価格の引き下げ
 (プラス要因)
 ・数量ベースでの増加
 (症例数、症例あたり使用量の増加)
 ・心臓律動管理関連等の
 高額製品の販売増加

原価率 +0.03pt
 (マイナス要因)
 ・償還価格の引き下げ
 (プラス要因)
 ・取扱主力製品の仕入条件の改善
 ・販売目標達成による
 リベートプログラムの寄与
 ・商品の一括購入による
 コストダウン

販管费率 +0.05pt
 (コスト増加要因)
 ・営業部門強化の為の
 人件費増

1-5 要約貸借対照表

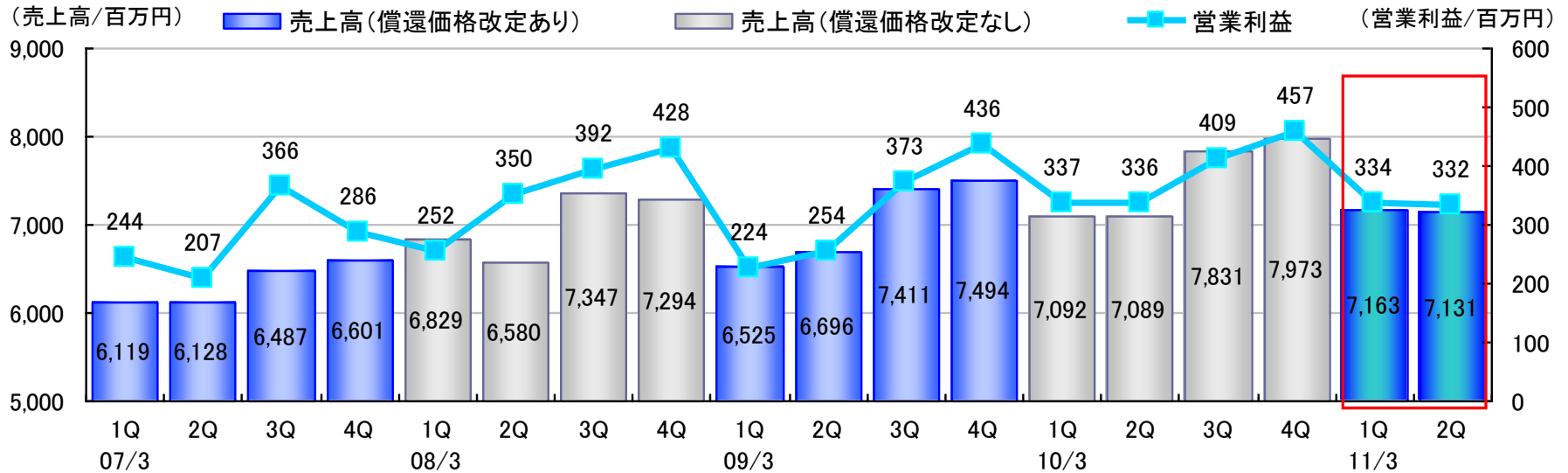
(単位:百万円、%)	2010年3月末		2010年9月末			(単位:百万円、%)	2010年3月末		2010年9月末		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額		金額	構成比	金額	構成比	増減額
流動資産	13,380	88.7	12,671	88.5	▲ 709	流動負債	8,660	57.4	7,864	54.9	▲ 795
現金・預金	3,933	26.1	2,709	18.9	▲ 1,223	仕入債務	7,949	52.7	7,291	50.9	▲ 658
売上債権	8,277	54.8	7,604	53.1	▲ 672	短期有利子負債	79	0.5	79	0.6	—
有価証券	—	—	899	6.3	+899	未払法人税等	377	2.5	291	2.0	▲ 85
商品	916	6.1	1,186	8.3	+269	その他流動負債	253	1.7	202	1.4	▲ 51
その他流動資産	253	1.7	270	1.9	+17	固定負債	269	1.8	231	1.6	▲ 37
固定資産	1,710	11.3	1,642	11.5	▲ 68	長期有利子負債	113	0.8	74	0.5	▲ 39
有形固定資産	1,104	7.3	1,101	7.7	▲ 3	その他固定負債	155	1.0	157	1.1	+2
無形固定資産	128	0.9	101	0.7	▲ 26	負債合計	8,929	59.2	8,096	56.6	▲ 833
投資その他資産	477	3.2	439	3.1	▲ 38	純資産合計	6,161	40.8	6,216	43.4	+55
資産合計	15,091	100.0	14,313	100.0	▲ 777	負債・純資産合計	15,091	100.0	14,313	100.0	▲ 777

1-6 要約キャッシュ・フロー計算書

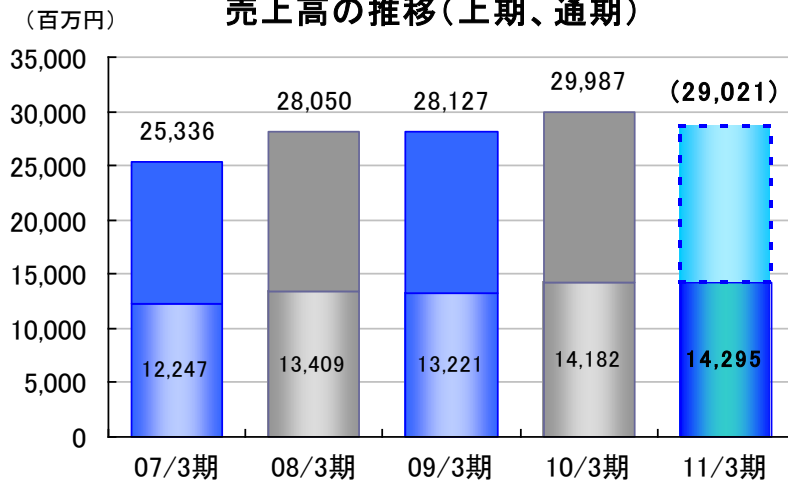
	2009年4-9月期	2010年4-9月期	
	金額(百万円)	金額(百万円)	増減額(百万円)
営業キャッシュ・フロー	762	30	▲ 732
税引前四半期純利益	678	678	+0
減価償却費	53	50	▲ 3
売上債権の増(▲)減額	575	672	+96
仕入債権の増減額	137	▲ 658	▲ 796
法人税等の支払額	▲ 357	▲ 377	▲ 20
投資キャッシュ・フロー	▲ 56	5	+62
有形固定資産の取得による支出	▲ 12	▲ 18	▲ 6
投資有価証券の取得による支出	▲ 33	—	+33
投資有価証券の売却による収入	—	35	+35
財務キャッシュ・フロー	▲ 241	▲ 359	▲ 118
長期借入金の返済による支出	▲ 39	▲ 39	—
配当金の支払額	▲ 201	▲ 319	▲ 118
現金・現金同等物の増減額	464	▲ 323	▲ 788
現金・現金同等物の期首残高	2,623	3,933	+1,309
現金・現金同等物の四半期末残高	3,088	3,609	+521

1-7 業績推移

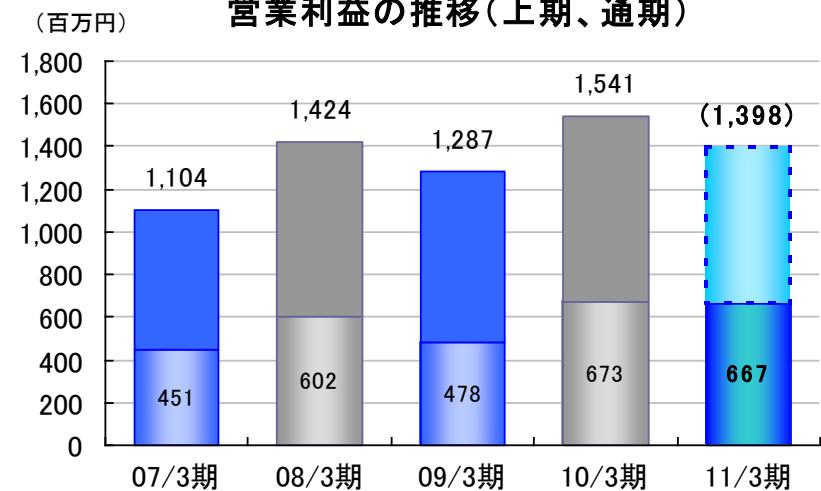
売上高/営業利益の推移(四半期)



売上高の推移(上期、通期)



営業利益の推移(上期、通期)



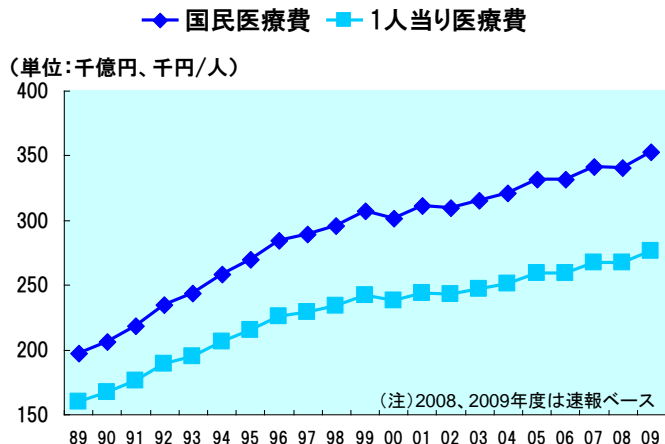


WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

2. 下期の戦略と予想

2-1 事業環境 厚生行政

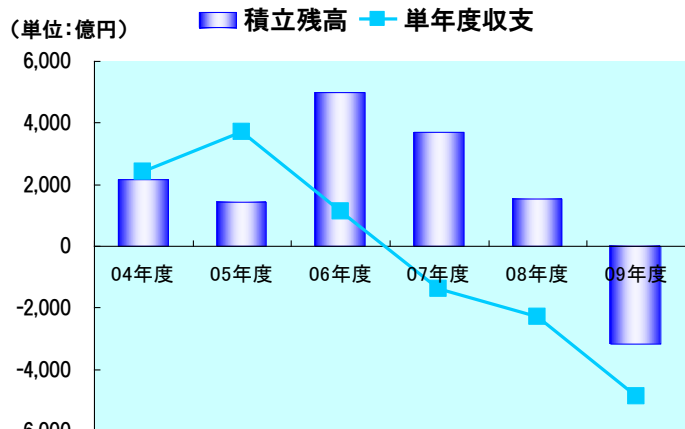
(1): 国民医療費の増大



(出典) 厚生労働省「平成19年度国民医療費の概況」「平成21年度医療費の動向」

09年度国民医療費
35兆2,501億円
前年比1兆1900億円増
(+3.5%)

(2): 医療保険財政の悪化



(出典) 全国健康保険協会「平成21年度決算について」

医療財政再建策

診療報酬改定

後期高齢者医療制度

健診・保健指導の義務化

民主党への 政権交代

医療政策の抜本的な見直し

中医協改革

診療報酬改定
病院勤務医重視

後期高齢者制度の見直し

医療機器の流通改善に関する懇談会
(厚生労働省医政局長 主催)

介護保険制度

底ばいが続く日本経済
税収減の悪影響

2-2 基本戦略 今期の取り組み

業界再編を視野に入れたシェアの拡大

- ・当社の主要基盤で、症例数が集中する関東圏における、更なるシェア拡大
- ・全国展開を視野に、販売量の伸張と事業規模の拡大を推進

機動的営業体制

- ・営業担当者増員と早期戦力化の為の研修制度整備（営業分野と業務分野の研修体系化）
- ・新規顧客の開拓（東京・神奈川・埼玉等）
- ・低侵襲治療の新たな手技の提案と啓蒙
- ・新規事業部と各営業部（消耗品）の同行営業強化
- ・営業所等の移転・新設（10月：千葉、下期予定：埼玉）

量の拡大

業界再編を勝ち抜く
体制の整備と運用

適正利潤

仕入力の強化

- ・メーカー各社のDES新商品の投入、競合におけるボリュームディスカウント等の取引条件交渉の工夫
- ・当社顧客の消化力を背景とした一括購入
- ・リベート・アロワンスの戦略的交渉

物流管理・販売管理の向上

- ・内部統制運用フェーズでの適確な物流・販売管理
- ・蓄積データの多角的な活用による迅速な意思決定と効率性の推進（BIシステム）
- ・BCPの推進及び新基幹システムの開発

2-2 基本戦略 成長分野への取組み(CVS)

【CVS】(心臓外科領域)

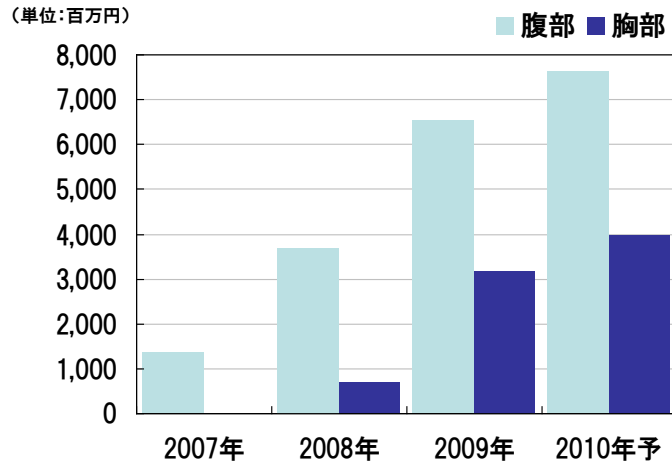
ステントグラフト

人工血管にステントを取り付けた新型人工血管で、カテーテルに収納したまま使用する。

脚の付け根を4~5cm切開して動脈内に挿入し、大動脈瘤の患部に装着する。

大動脈瘤の治療法として、胸部または腹部の開胸/開腹手術(人工血管置換術)が一般的だが、最近ではステントグラフト内挿術が普及し始めている。

ステントグラフト国内販売金額の推移



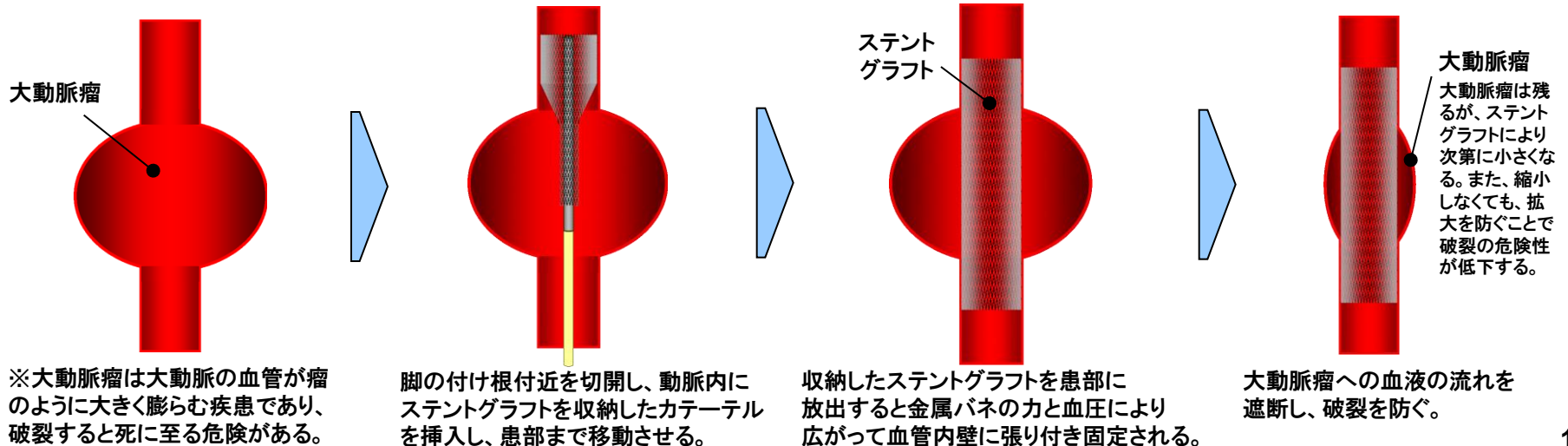
(参考)

米国における2006年の人口血管置換術の内訳

外科手術:ステントグラフト手術=4:6

日本も今後移行が進むが、実施基準等の制約により欧米に比べ普及速度はスローペースになると推測

(出典)株式会社アールアンドディ「医療機器・用品年鑑2010年版」



【CRS】(心臓律動管理領域)

ICD(植込型除細動器)



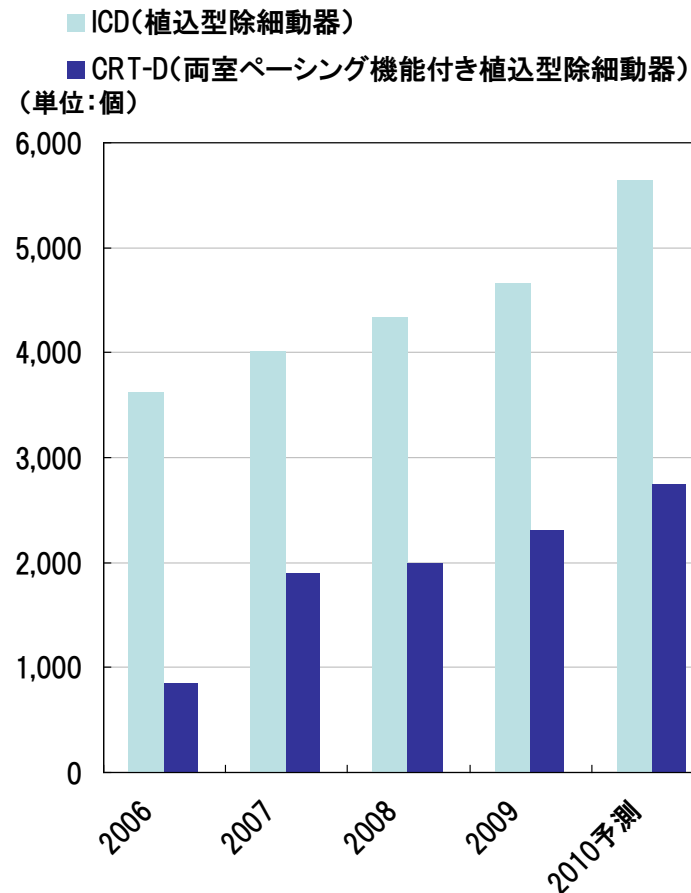
ペースメーカー機能に加え、致死性の異常に速い拍動を止め、心臓に正常な拍動を取り戻す機能がある

CRT-D (両室ペーシング機能付き 植込型除細動器)



両心室の電気刺激により、心臓のポンプ機能を改善させ、致死性の異常拍動を止める機能がある

植込型除細動器国内販売数の推移

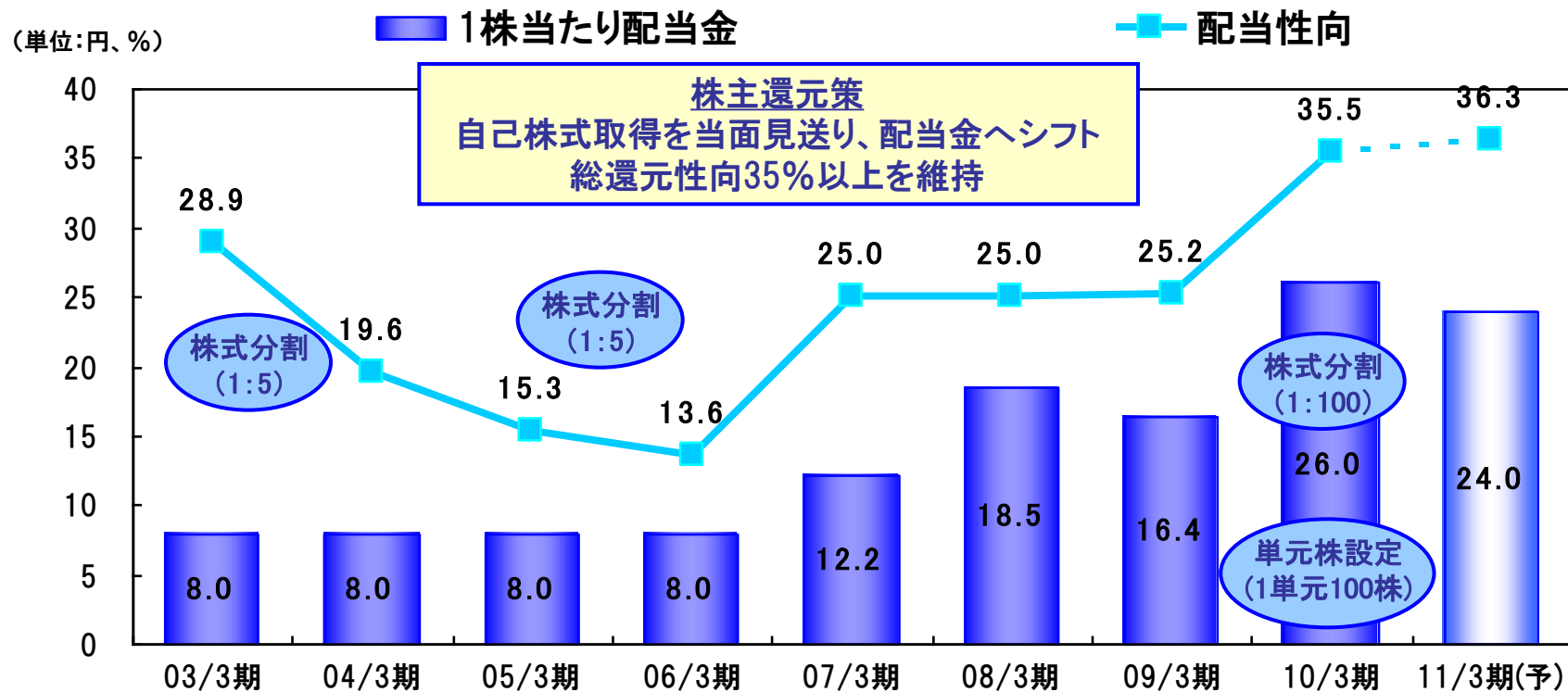


(出典)株式会社アールアンドディ「医療機器・用品年鑑2010年版」

2-3 今期予想(2011年3月期予想)

	2010年3月期 (実績)		2011年3月期 (予想)		
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	前期比(%)
売上高	29,987	100.0	29,021	100.0	▲ 3.2
営業利益	1,541	5.1	1,398	4.8	▲ 9.3
経常利益	1,548	5.2	1,405	4.8	▲ 9.3
当期純利益	902	3.0	813	2.8	▲ 9.9
1株当たり当期純利益(円)	73.34	—	66.11	—	▲ 9.9
1株当たり配当金(円)	26.00	—	24.00	—	▲ 7.7

2-4 株主還元(配当性向35%以上)



自己株式取得の経緯(1~2回目はストックオプションの実需手当、3~4回目はリーマンショックへの緊急対応)

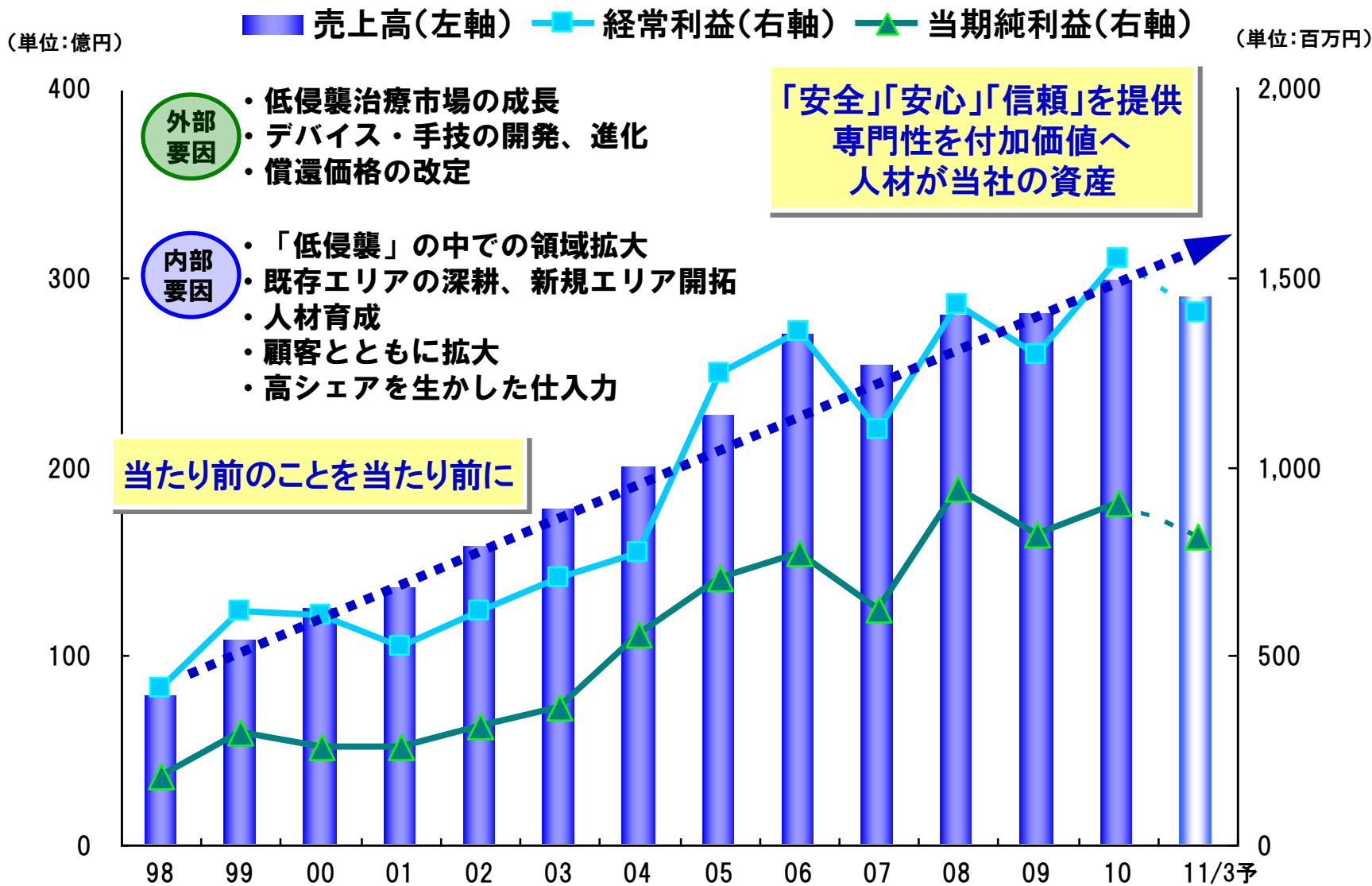
	1回目	2回目	3回目	4回目
取得期間	04/7/1~05/5/20	07/9/3~08/2/29	08/11/7~12/12	09/2/6~3/10
取得株数(注)	343,100株(2.64%)	151,100株(1.16%)	251,900株(1.94%)	100,000株(0.77%)
取得金額	238百万円	70百万円	99百万円	39百万円
取得上限	50万株/250百万円	20万株/80百万円	30万株/100百万円	10万株/40百万円

自己株式の消却

消却日:09/3/31
 消却株:696,600株(5.36%)
 発行済株数:12,303,400株
 (消却後)

(注)1株当たり配当金、自己株式取得・消却の株数はいずれも株式分割調整後。自己株式の取得株数の後ろのカッコ内は消却前発行済株式数に対する比率

2-5 成長戦略



この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ウイン・インターナショナル(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2010年11月2日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

株式会社ウイン・インターナショナル

総務部 IR担当

TEL: 03-5688-0878 FAX:03-5688-0891

HP:<http://www.win-int.co.jp>